



鼻ぐり井手ボランティアガイド養成講座閉講式

和
気
香
風

10月18日(金)に、鼻ぐり井手ボランティアガイド養成講座の閉講式が行われ、富永南部町民センター長から3・4年生の子どもたちへ、修了証が渡されました。当日は、バスに乗って井手の主要箇所を巡り、実際に目で確かめながら学びを深めていきました。

最後に、これまでの講座で多くのことを教え続けてくださった先生方お一人お一人から温かいお言葉をいただきました。

いま、子どもたちは鼻ぐり井手祭に向けて、発表の練習も頑張っています。昼休みに自主練習を行い続ける一生懸命な姿から、伝統を守り伝えようとする人材が確かに育っていることを実感しています。本番での活躍が楽しみです。



地域に支えられて～田植えから稲刈りまでの体験活動～

10月21日(月)に、5年生が稲刈りを行いました。これは、西岡和明様のご厚意により成り立っている、田植えから稲刈りまでをとおした体験活動です。

大切なお米なのに、小学生の成長のためにお力添えいただけることに、深く感謝申し上げます。

教育は子どもたちの人格を完成させるために行いますが、それは教室だけで行うものではありません。教室を飛び出して、人やものとの出会い、肌で感じたり、実際に手足を動かして体験したり、失敗しながらだんだんできるようになったりしながら、人として大切なことを学んでいくというか、人間としての幅が広がっていくのです。真に重要な教育です。だからこそ、このような教育を行わせていただくことに感謝の思いでいっぱい입니다。

こうした地域の支えにより、貴重な体験を経ながら育つことができた子どもたちには、豊かな心が育まれ、これからの南小、菊陽町をつかっていくことができることでしょう。



修学旅行を終えて～はっきりと見えた子どもの育ち～

10月24～25日の一泊二日で、6年生の修学旅行を行いました。一日目は平和学習を、二日目は歴史・文化・科学の学習を積み上げました。行程は、どの学校でもある長崎修学旅行でしたが、子どもたちの様子というか子どもたちの質が違います。

語り部の方やボランティアガイドさんの説明を真剣に聞いている南小の子どもたち。戦争というものの恐ろしさ・愚かさ・悲惨さと同時に、平和の尊さをしっかりと学ぶ姿勢がありました。学習を離れたら、とにかく仲が良く、その中にいると、ほわ～んとした心地よい空気に包まれて、見ているこちらの表情が自然と穏やかな笑みを浮かべていることに気づきます。

6年生保護者は、子ども不在で寂しい思いをされたことと思いますが、本当に立派で素敵な姿を見せてくれたことをお知らせします。これまで、ご家庭で大切に育てられてきた子どもたちだからこそ、人として立派に育っています。

この南小の子どもたちは、一生懸命で、やさしく、温かく、人を大切にする、そのことをしっかりと証明してくれた6年生でした。

